

小沢映子 後援会だより vol.24

四っ葉のクローバー

ご意見・ご要望はこちらまで

小沢映子後援会事務所

〒417-0001 富士市今泉5-6-45

TEL・FAX 0545-52-5299

MAIL eiko@tx.thn.ne.jp



ブログ更新中です。遊びに来て下さいね!

小沢映子 <http://www4.tokai.or.jp/ozawa/>

故石丸恵美子議員から「あなたほどの当事者はいない」と声をかけられ、議員のバトンを受け取って、はや20年が経とうとしています。最重度の脳性麻痺の長女の介護をしながら、認知症の舅と姑の在宅介護も経験した私ですから、確かに私以上の当事者はそうそういません。

「あんな障害の重い子がいて議員なんかできるの」「障害の事ばかりやるんじゃない」との周囲の心配にも、石丸さんは、大丈夫だから!と支えてくださいました。

5期20年を
振り返って

最後のご挨拶
それはもう感謝しかありません!

そして、今は、はっきり言えます。自分の持つ生きづらさは決してハンデイではなく、むしろ強みであると! 確かに障害のある娘と歩む議員生活は多忙でした。植物や動物の世話や自分の趣味など考えられないことでした。

でもそれ以上にやりがいがありました。私だからこそ気付ける視点で、様々な課題に挑戦し、勉強もさせてもらいました。

そしてなんといつても、傍聴に来てくださったたり、選挙の時にはボランティアで助けてくださったたり、温かい声をかけて下さり支えてくださる皆さんに背中を押してもらい続けてきました。

介護、育児「両立可能に」

活動の環境
活動の環境

活動の環境
活動の環境

活動の環境
活動の環境

活動の環境
活動の環境

活動の環境
活動の環境

活動の環境
活動の環境

地方議会と女性

当事者目線 市政に必要



さらに家族や、娘の通う施設のスタッフの支えもなくては、議員活動も続けられませんでした。皆様には感謝してもしきれません。

偉大な石丸さんと、そもそも比べようありませんが、この20年間の活動は100点には遠く及ばないにしても、石丸さんに合格点をつけても及ぶのではないかと思っています。



石丸恵美子さんと



女性議員を増やすために！



富士市議員定数に占める女性の割合

32人中 **6**人 (18.7%)

女性の視点が政策決定の場に必要です！

市の10000ほどもある予算項目の中身の大半は生活のことです。この20年間を思い起こしても、つくづく政策決定の場に当事者の立場の視点の必要性を痛感しています。

静岡県下の無党派の女性議員たちとネットワークを作り女性議員を増やす活動をしています。

女性ゼロ議会だった富士市に石丸恵美子さんが名乗りを上げ、議会活動で大きな実績を残しました。そのバトンを受け継ぎ20年。私も次の女性にバトンを渡す時が来ました。

幸いなことに、志を共にする素晴らしい女性が、政治活動を始めてくれました。



佐藤菊乃さんへバトンを渡す

初めからずっと支えてくれた盟友、後援会の事務局長、

渡瀬佳子さんからのメッセージ



渡瀬佳子さん

市議会議員になってもう20年ですね。私にとっては手探りでしたが、選挙活動のお手伝いに参加させていただき、とても良い経験でした。

事務所では、初めてお会いする人ばかりでしたが、考え方や思いを同じくする仲間の一員となり、いつも疲れや大変だったと感じられないくらいに充実した日々でした。

人の事でも自分の事のようには相談に乗ってもらい前向きな道を見つけることもありました。映子さんは、とても明るく、ちよつとユーモアのある一生懸命な人です。



ですから事務所や集会場所は、いつも明るくパワフルでした。
人生の後半で人とのつながりをたくさん得ることができて、とても嬉しかったです。
仲間の一員として20年ありがとうございました。

後援会の皆さま方
ありがとうございました。

後援会長 鳥居 巖

私は、先の後援会長堀俊二さんが亡くなられ図らずも引き継いで10年、確か2回の選挙の洗礼を受け、つとめさせていただきました。

後援会長は後援会が担ぐみこしに乗っているだけでいいですよ、と言われ気軽に引き受けてしまったのですが中々そんなわけにはいきません。特に選挙前（後も）は言われたまま富士市中を走り回っていたような気がします。また個人的には市政を通して部分的にも大変貴重な体験をさせていただきました。

ともあれ、小沢映子さんが5期、延べ15,000人の人達の負託に十分応え働かせていただいたという思いを持って退かれるのは誠に喜ばしい限りです。

小沢さん、後援会の皆さま長い間本当にお疲れさまでした、そしてありがとうございました。



73回100項目以上の質問をしました

1度も欠かさず、すべての議会で登壇し（令和4年9月1日現在）一般質問をしました。（副議長の1年間は慣例で質問できない）



市民後見推進事業
について

- ・ 子どもの権利条例制定
- ・ 共に生きる社会は共に学ぶ教育から
- ・ 学校に行けない子、行かない子に教育の機会を確保
- ・ 子どもの発達支援と貧困対策の教育支援

子供を
性犯罪から守るには

- ・ 性教育はいいことだから
- ・ 学校に福祉の専門家を（スクールソーシャルワーカー活用）



教育プラザの
役割について

- ・ 夜間中学の設置を
- ・ 幼保三元化について
- ・ 魅力ある市立高校を目指して



発達障害児者支援

- ・ 緊急雇用対策 支援員の設置を望む
- ・ 精神障害者の地域生活支援について
- ・ 手話言語条例制定を地域で暮らすを当たり前に

その他

- ・ 犯罪被害等支援条例
- ・ 富士市のバリアフリー
- ・ ひきこもり支援について
- ・ 富士市で本当に安心して老後を迎えられるか
- ・ 介護保険について
- ・ 積極的な女性登用を女性の生きにくさに寄り添う
- ・ 災害弱者の防災について
- ・ 行政とNPO法人の協働について
- ・ 富士市を人権のまちに
- ・ 中央病院を市民の信頼にこたえる病院に

思いを伝える！

女性議員として、福祉の担い手として、数多く県内外の講演会や研修に講師やパネラーとして呼んでもらいました。

その場で議員としての貴重な経験や福祉についての実践や思いを伝えさせてもらいました。





14,004票

5回の選挙で皆さんに名前を書いてもらった数です

皆様の期待に応えるべく、努力を重ねてまいりました。こんなにも多くの方に支えられて、議員活動ができたことは、この上ない幸せです。心より感謝申し上げます。



出陣式にて



全介護が必要な重度の障害を持つ娘の介護歴も37年が過ぎました。思えば舅・姑の介護も経験し、家事・育児と経験し、女性であることも含め、男性議員の多い市議会の中で、私の持つ視点は、大変貴重だったと思います。



家族一同より感謝を込めて